2022.05.29. 聖書預言・アップデート

夜明け前が常に一番暗い

JD ファラグ牧師

では今日は、このことわざについてお話したいと思います。皆さん聞いたことがあると思いますが、「夜明け前が常に一番暗い」聖書預言に関連して、これを話したいと思います。こんにちの世の中は、日を追うごとに邪悪さが増し、日ごとに暗くなっていっているのは、皆さん同意されると思います。イエ～イ。どうですか。この始め方。しかし、神は。夜が一番暗いのが太陽が昇る直前なのと同様に 人類歴史が最も暗くなるのは、御子が戻って来られる直前です。御子/Son　大文字の S…o n。イエスが教会携挙で来臨される直前が、人類歴史の最も暗い夜の時期です。しかしながら、この悪とこのような悪は、これからもますます酷くなっていき、世は日が経つにつれて暗くなり続けるでしょう。その理由は、聖書預言は、教会携挙直前に、どれだけ悪くなるかを語り警告していて、そう、悪くなっていきます。自分自身に正直になりましょう。私たちはこれを、起きている現実以外の方法で包み隠せません。とても暗くなっていき、世はとても邪悪になりつつあります。しかし、それは良い事なのです。世がますます危険で邪悪になりつつあるから、私たちは、教会携挙がもう扉口まで来ているのが分かるのです。なぜなら、繰り返しますが、聖書は、終わりの時に世がどうなるかを教えているからです。「第二テモテへの手紙 3 章」

１節からです。大変お馴染みの文脈です。使徒パウロが聖霊によってテモテに手紙を書いています。

II　テモテ　3

1 終わりの日には困難な時代が来ることを、承知していなさい。

パウロはこれから 19 の特徴を挙げていきます。終わりの日の危険な時がどのようなものかを示す 19 の指標です。このリストを聞いてください。それを読み、眺めると、今のニュースフィードのように読めます。

2 そのときに人々は、自分だけを愛し、金銭を愛し、大言壮語し、高ぶり、神を冒瀆し、両親に従わず、恩知らずで、汚れた者になります。

3 また、情け知らずで、人と和解せず、中傷し、自制できず、粗野で、善を好まない者になり、

4 人を裏切り、向こう見ずで、思い上がり、神よりも快楽を愛する者になり、

5 見かけは敬虔であっても、敬虔の力を否定する者になります。こういう人たちを避けなさい。

因みに、この手紙は、教会宛です。テモテが牧師の教会宛ですよ。この手紙は、テモテに向けて書かれたもので、世ではなく、教会に読まれる手紙です。このリスト。もう読まないからご心配なく。読むべきでしょうが、読みません。しかしこれは、終わりの危険な時代が来た時、教会の中で起こることを描写したものです。使徒パウロが、エペソの教会宛の手紙「エペソ人への手紙」5 章 15 節の冒頭で、彼はこう言っています。

エペソ　5

15 ですから、自分がどのように歩んでいるか、あなたがたは細かく注意を払いなさい。知恵のない者としてではなく、知恵のある者として、

理由は、

16 機会を十分に活かしなさい。悪い時代だからです。

遊んでいる場合じゃありません。こんにち、私たちが住んでいるこの世は、遊び場ではなく、戦場です。悲しい事に、こんにち多くのクリスチャンが教会ごっこをしています。もう一歩踏み込んで、敢えて言い

ます。悲しい事に、これを言うのは心が痛みます。非難したり、指をさすのではありませんが、こんにち多くの牧師も教会ごっこをしています。言うのは悲しいですが。「エペソ人への手紙 6 章」これもまた、大変なじみのある神の武具についての節です。13 節の前半（日本語は後半）に注目してください。パウロが語ります。

13b 神のすべての武具を取りなさい。

その理由は、その「事」の背後の「理由」は、

13a 邪悪な日に際して対抗できるように、

それが理由です。そしてイエスが仰います。「マタイの福音書 24 章 37 節」、

37 人の子の到来はノアの日と同じように実現するのです。

ノアの時代はどうだったのか、知りたいですか？　皆さん、彼らがどんな人たちだったか知っていますね。「創世記 6 章」で語られています。5 節を読みたいと思います。

5 主は、地上に人の悪が増大し、（ここ聞いてください）**その心に図ることがみな、いつも悪に傾くのをご覧になった。**

わお〜。それをよく考えましょう。言い換えれば、絶え間なく、ずっと悪のみ。悪だけが絶え間なく続くのです。そして全ての意図が、意思が、心の思いが、絶えず悪でしかなかった。私の頭の中には、こんなイメージがあります。彼らは朝起きると、どんな新しい悪をするか考えるほどに大変邪悪だった。それくらい、人間が邪悪な存在になっていたのです。そしてイエスは、来臨される時は、ノアの時代のようだと仰います。私たちは、ノアの時代のような、邪悪さと暗さの増大した時代に、確実に匹敵する時代にいると言わせて頂きます。よろしければ、今日の残りの時間を使って、このことについて説明したいと思います。聖霊の助けを借りて、本当に皆さんの励みになればと願います。この一週間、主が私を励ましてくださったことを分かち合いたいと思います。皆さんにも励みになるのを願います。しかしその為、先に進むので、ユーチューブとフェイスブックでのライブ配信をここで終了します。まだの方は、ウエブサイトへ直接どうぞ。

ー本編ー

先週、2019 年のイベント 201 を彷彿させる別の最近のパンデミック演習について、何人もの方から教えていただきました。イベント 201 については、過去のアップデートで詳しく紹介していますが、簡単にその内容を説明します。

2019 年 10 月 18 日、ニューヨークで開催されたものです。ここでその日にちを整理してみてください。2019 年 10 月です。これは、、、まだオンラインにアクセスでき、この演習、この模擬実験の動画を見ることができますよ。世界的な大流行を想定した高度なパンデミック演習で彼らがこう呼ぶものをモデルにしています。引用：「架空のコロナウイルス」ふむ。。。2019 年 10 月。なぜ彼らは分かったのか？

世界経済フォーラム、ビル＆メリンダ・ゲイツ財団、ジョンズ・ホプキンス大学が主催です。

2021 年 3 月に早送りします。NTI（核脅威イニシアチブ）は、世界保健機関（WHO）に資金提供している同じ財団のビル＆メリンダ・ゲイツ財団から資金提供を受けていることに留意すべきです。さて NTI は、ミュンヘン安全保障会議と提携し、生物学的脅威の低減に関する卓上演習を実施しました。

「この演習は、重大な生物学的事象に対する予防・対応能力を向上させる機会を探りながら、国内および国際的な生物学的安全保障とパンデミックへの備えの構造におけるギャップを検討。」いったい、彼らが

話しているのは、どんな生物学的事象のことでしょうか？　お～ダウンロード可能なこの 36 ページの PDF ファイル 8 ページに行くと、リンクを貼っておきますが、次のように書かれています。引用します。
「技術や政策の専門家との協議を経て作成されたこの演習のシナリオが想定するのは、特殊なサル痘ウイルスが出現し、やがて世界的に蔓延するという致命的なパンデミックだ。演習後半、シナリオでは、最初の集団発生は、バイオセーフティとバイオセキュリティの規定が不十分で監視の詰めが甘い実験室で操作した病原体を使ってのテロ攻撃によって引き起こされたことが露呈する。演習のシナリオは、（聞いてください）全世界で、”30 億件”以上、死亡者数は 2 億 7 千万人という結論。シナリオ策定の一環として、NTI は 2020 年 12 月に有識者によるバーチャルコンサルテーションを実施。」
笑ってしまってすみません。でも先週聞いたのが、誰がそう言ったのか分かりませんが、なんとなくイメージが湧きますね。「消防士が放火魔だ。」もう一回やってみます。同じことを別の方法で言います。放火犯が放火し、そのあと、消防士として現場に現れて火を消す。イメージできますか？　ふむ。。。
では、恐らく皆さんご想像の通り、これは、多くの人の注目を集めました。そうして、先週 24 日（火）、NTI はこの卓上演習に関する公式声明と FAQ を発表せざるを得なくなりました。人々が質問し始めたのです。「ちょっと待って。あなたたちはこの演習を、サル痘ウイルスが発生し、出現し、世界的に広がることを想定して行ったのか？」その中で、特に前述の PDF ファイル 10 ページ目に 2022 年 5 月 15 日にサル痘が発生するシナリオが書かれていることから、これを偶然の一致で片付けようとする試みは何度も失敗しています。今日は、5 月 29 日ですね。ちょっと待ってください。私がこれを理解してるか確認させてください。ですから彼らは、サル痘ウイルスの発生を想定した実演を行いました。 この実演、卓上演習は、2022 年 5 月 15 日に大発生した場合のシナリオです。間違っているかもしれませんが、今いきなりテレビの画面で見たのは、まさにこの日だったと思います。「今、突然？」お～予定通り。彼らはどうやって知ったのか？　ふむ。。。ふむ。。。と言わせますよね。
もう 1 つご紹介します。誰が言ったか忘れましたが、次のような内容です。
「反発を支配する最善の方法は、反発をリードすること。」これで十分悪くなかったら、このシナリオで、サル痘は人工的に作られたと言っています。これを非常に注意して聞いてください。
「ワクチン拒否者と…（また始まりました。）国際的な供給連鎖に課題があることを指摘。」そう実は、私たちが思っている以上に邪悪で暗いのかもしれません。どうか最後まで聞いてください。このサル痘は、実は、コロナワクチンの有害事象として知られる帯状疱疹によく似ているという説が有力です。それが事実なら、驚くべきことではありませんが、これは「ヨハネの黙示録」が預言的に詳細に記す世界的な大虐殺という邪悪な策略のために、嘘をつき、隠蔽するためのもう一つの欺瞞です。皆さん、これにショックを受けないでほしいですが、締めくくりに入ります。私が大丈夫です。皆さんは大丈夫ですか？　始めた方法で締めくくります。シンプルに言います。 そう、とても邪悪で、とても暗くなってきています。しかし、イエスが来ることを意味します。なぜなら繰り返しますが、、、はい。主を褒めたたえます。ー拍手ー　実は、これに話しの方向があって、時間が欲しかったのです。私の心から、皆さんの心へと伝えるため締めくくりを急ぎません。本当に大変な苦労をされている人がたくさんいらっしゃいます。どんどん暗くなり、どんどん辛くなり、どんどん邪悪な日々になっていきます。多くの人が心を失っています。幾人かにとっては、主は全然すぐに来られません。多くの人が糸一本にしがみついているからです。そして、さらに悪化する可能性があると分かっています。「主よ、私はどうしたらいいのか分かりません。
主よ、お願いです。もし今すぐ私たちを携挙されないのなら どうやって乗り越えれば良いか分かりませ

ん。」では、私はあなたを、先週、主が私に教えてくださったことで励ましたいと思います。私たちは、イエス・キリストを信じ、それに従う者として、保証、神が破ることが御出来にならない御約束の保証があります。聖書の至るところで、私たちは約束されています。神は御約束を破ることが御出来になりません。神は私たちに御言葉を与えてくださいました。神は御言葉を守られ、神はあなたを守られます。神は決してあなたを見捨られません。神には御出来にならないのです。神は常にあなたをすべての恐れから救い出されます。どうやって？　分かりません。どうやってか、どんな方法か分かりません。いつなのか分かりません。それって大ごとですよね。なぜなら、その”時”が、今であってほしいから。しかし神のタイミングは常に完璧なのです。その苦労とはこうです。私たちが世を見ると、ますます日ごとに邪悪で暗くなっていくので、私たちは神の御約束を分かっていますが、私たちが生きている暗闇の悪の日々から、ラッパが鳴り響くまでどうするのか。 質問したいことがあります。あなたは、神が今あなたを見捨てたり、置き去りにされると本当に思いますか？　あなたは…あなたはどんな悪い状況でも神があなたを乗り越えさせてくださることを知っています。どんなに悪くなっても、神の善良は変えることができません。「ええ、でも牧師さん、失礼ながら、そう切り出します。失礼ながら、あなたは私がどんな状況にあるか分かっていません。」はい、分かりません。しかし神が、ご存知です。「はい、でも本当に厳しくなってきて、どうしていいのか分かりません。日ごとの話ではありません。もう瞬間の話なのです。」そう、主がそこにおられ、主が見守ってくださいます。こんな風に言って良いですか？　主はあなたに過剰なほど投資しておられます。それを分かっていますよね？　高価な真珠の例えをご存じでしょう。ある人が、持っていた物すべてを売り払い、高価な真珠を手に入れるため買います。（マタイ　13:46 参照）
私たちはその真珠です。主は私たちを買われました。ご自分の全てを懸けて。主は私たちを心から愛しておられます。主は私たちに多くの投資をされています。主は決して私たちを見捨てられません。主は私たちに何が必要かちゃんとご存知です。私たちがそれを必要になる前から。あなたがそれを祈る前から。
それについて「ヤコブ書」の学びでお話ししますよ。主はあなたに何が必要かをよくご存知です。主は、あなたが必要なあらゆるものをあなたが必要な時に必ず提供してくださいます。私たちはその前に、してもらいたいのです。そこにあることが分かるように。私たちはイスラエルの民と同じですよね？　私たちは明日のマナを今日欲しい。そこにあるのが分かると、夜よく眠れますから。
「いいえ、あなたはわたしを信じなければなりません。 明日そこにあります。」待ってください。どうやって分かるのですか？「お～明日になれば分かります。」私は確信してますが、聖書の記述を見返してもイスラエルの民が目を覚ました時にマナがなかったとか、遅れたとか、流通の問題とかは一度もないのです。常にそこにありました。マナについての要点は何か？　マナはキリストの型ですよ。その要点は「わたしを信頼して欲しい。」です。私たちの中のすべてが、信仰によって歩むこと、主を信頼することに苛立ちを覚えるから、私たちはそれが見たいのです。目で見て歩みたいのです。結局、見ることが信じる事だから。「マナを見たい。あそこにある。良かった。今ベッドに入って、起きたらそこにあるのが分っているから安心して眠れます。」皆さん、何が起こったか知っていますよね。イスラエルの民が、、、彼らに厳しくなりすぎないでください。なぜなら、私たちが自分に正直なら、まったく同じことをしたでしょうから。「何かの理由で、明日にない場合に備えて、ちょっと余分に、少し多めに取ります。」OK。どうぞどうぞ。皆さん、何が起こったか知ってますよね？　虫がわき、臭くなった。（出エジプト　16：20）
では、新約聖書で語られているように、主はこの旧約聖書のパターンから私たちに何を学ばせられたいのでしょうか。なぜなら、それらは私たちに例として与えられたからでしょう？　そこから何を学べと

いうのでしょうか。何があっても、神は必ず与えてくださるということを、私たちは学ぶべきなのです。主のタイミングはいつも完璧です。主は決して遅れられません。また、早過ぎる事もありません。実を言えば、私たちは主が早く来ることを望まないのです。主は常に提供下さいます。因みに、あなたの信仰はどうですか？　終えたばかりの「ヘブル人への手紙」の節ごとの学びの通り、信仰がなければ、神に喜ばれることはできません。（ヘブル　11:6）
その意味は、信仰があれば、神を大変喜ばせることが出来るのです。神は私たちの信仰を大変喜んでくださるのです。福音書の中で、誰かが信仰を持っていることを指摘するためイエスがすべてを止められるという記述に、ちょっと驚愕します。イエスは全てを止めて仰います。
「イスラエルのうちでも、これほどの信仰を見たことがありません。」（ルカ　7：9）
ある者がイエスのもとにやってきて、癒しを求め信仰によって信じるのです。イエスはこんな風です。
「そうなります。あなたの信仰のとおりになれ。」（マタイ　9：29）
そういう仕組みだとしたら、そうなのですが、神は、私たちにその信仰を求められるのではないでしょうか？　どうすれば、その信仰心を手に入れることができるのでしょうか？　心から分かち合っています。最後まで聞いてくださいね。どうすればその信仰を得られるのか？　信仰は聞くことから始まり、聞くことは、御言葉を通して実現します。（ローマ　10：17）
私が御言葉に入ると、御言葉が私の中に入ります。「私は恐れない。私には恐れはない。」しかし敵がそこにいて、私たちに恐れの霊を与えたがっています。私にとっての恐れは、まさに信仰の対極にあるものです。恐れと信仰を同時には持てません。どちらか一方です。ですから、自分に信仰があるなら？「ええ、ありますけど、見えません。」違います。見ることが信じることではありません。信じることが見ることです。信じれば、あなたは見るのです。（ヘブル　11：1 参照）
ですから私はこの先を見ています。主よ、私は毎週、私の特権からここに立ち、いかに邪悪なものかを説いています。これはあくまで私たちが知っていることですよ。使徒パウロでさえそう言いました。それは、恐ろしく、言葉にならないほど邪悪で、しかも密かに行われます。これは、正に私たちが知っていることが起こっているのです。その背後で何が起こっているか想像出来ますか？　ぶっ飛びますよ。その話には行きたくありませんね。しかし、それが恐れを生み出します。信仰は聞く事から、神の御言葉を聞く事から始まるなら、恐れは聞く事から、神の御言葉ではないことを聞く事から始まるのが当然ではないですか？　ですから自分が聞く事は何でも、恐れであれ、信仰であれそれがタンクの燃料になるのです。答えは？　その答えは、神の御言葉、祈りの中の神の御言葉です。実にシンプルです。神の御言葉と祈りです。祈りは、私が神に語り掛ける事。御言葉は、神が私に語り掛けられる事。それくらいシンプルです。敵はそれを知っていますよ。だから敵はあなたを御言葉から遠ざけ、祈りから遠ざけようとします敵はそれが、決め手だと知っているからです。私はこの全てを聞いていて、もちろん恐れがそこにいて、扉をノックします。「もしも～し。恐れは必要はない。恐れはここにいるからね～。」そして私は御言葉へ行きます。「あ～そうだった。主はすべての恐れから私を救い出してくださる。”恐れてはならない”
”恐れてはならない”　”恐れてはならない”　”勇気を出しなさい”　”恐れてはならない”　”恐れてはならない”　”心を騒がせてはなりません”」その記述がずっと続きます。私はそれを聞く必要があります。信仰はそうやって生まれるからです。私は落胆してしまうんです。皆さん落胆しますよね？　世で起きていること、それがいかに困難か、闇と悪を目の当たりにし、主に来てほしいのです。もうどうしたらいいのか分からない。あなたは乗り越えます。「ええ、でも　これからどうしたらいいんだろう。」いいえ。神

があなたを見守られます。主はあなたをそこから出されないかもしれませんが、あなたを乗り越えさせると約束しておられます。それが終わって振り返ってみると、あなたは神にそれを感謝しますよ。お～二度と経験したくありませんよ。でしょう？　しかし、その間に神がなさったことは、何ものにも替え難いでしょう。「凄い。主よ～。」私たちってこう言いますね。「なあ、ノンクリスチャンってどうするんだろう。」でしょう？　彼らはしません。彼らが何をするか知っていますか？　彼らはボトルへ向かいます。薬のボトルなのか、酒のボトルなのか。ただ痛みを和らげるために。私たちには神の御言葉があり、御言葉の神がいます。神は私たちに御言葉を下さっています。「ええ、でも、主よ、どんどん暗くなってきました。」分かっています。「だって、とても暗いんです。ますます暗くなっていますよ。」分かっています。皆さん、その意味が分かりますね？　ところで、文字通りこれは最初に言っておくべきだったかもしれませんね。間違いなく、夜が一番暗い時間帯は、太陽が昇る直前です。知ってましたよね？　知っていたと言ってください。良かった。ありがとう。というのは、そう言ってくれなかったら今日の聖書預言・アップデートのイントロは完全に台無しですから。しかし文字通り 夜の最も暗い時間帯は、太陽が昇る直前です。点と点が繋がりますか？「じゃあ、この闇のショーを始めましょう」と言うと無理があります？なぜなら、イエスが来られる前が一番暗いなら、かかってこんか～い、でしょ？　マズいですか？
闇よ、かかってこんか～い。だってイエスに来てほしいから。因みに、もしかして、、、そうなのですが、こんにちの世の中の闇が正に、私たちがこの世から脱出するために必要なら？　考えてみてください。もし、世がこうでなかったら、「お～い。急がないで、心配しないで。うまく行くよ～。」でも、物事が大変になると、、、さあ、正直になりましょう。皆さんどうなるか知ってますね？　逆境が襲うと、「お～主よ。早く来てください。」順境の時は、「お～主よ。褒めたたえます。主を褒めたたえます。ハレルヤ。」それほど緊急性はないのでは？　私がここで言おうとしている事が分かりますか？　神がそれをご存知ないと思いますか？　先週話しましたが、ええ、大変です。人々は本当に苦労していて、本当に傷ついていて、世は非常に暗く、大変邪悪です。たぶん人々は、すぐ家に帰りたい。彼らがしがみついていた事柄、何であろうと、たぶんもう強くはしがみついていません。手放しています。自分の人生で確信したのが、試練、痛み、苦しみ、辛苦、迫害、、、ああ、そういえば、
「キリスト・イエスにあって敬虔に生きようと願う者はみな、迫害を受けます。」(II テモテ　3:12)
（会衆：アーメン）そして、私たちは終わりの時にいて、正に終わりの今、そう、日を追うごとに悪化し、暗くなり、さらに邪悪になる傾向があります。しかし、神は！それが意味するのはたった１つ。”イエスが来られます”　最後に言わせてください。戦いに疲れているあらゆる人に、こんな風に言えるなら、、、元気を出してください。元気を出すのです。主はあなたの状況をご存知です。主は、どれほど辛く苦しいかまた、恐ろしいかをご存知です。しかし主があなたを見守られます。主が乗り越えさせてくださいます。どんなご方法か分かりません。でも主がなさいます。主のやり方は分かりません。でも主のご方法は、私たちのやり方ではありません。考えてみてください。私たちのやり方が主のやり方だったら？　私たちの考えが主の御考えであったとしたら？　それって悍ましいでしょう。主の御考えは、私たちの考えとは違います。主のご方法は、私たちのやり方とは違います。無限に高いのです。
「主の心を知っているのですか。(だれが主の助言者になったのですか。)」(I コリント　2：16)
主のご方法は未知数です。こう言わせてください。神は、あなたが尋ねるどころか、考えたこともない、想像を絶するようなご方法を選ばれるかもしれません。なぜなら主には御出来になるからです。神は、あなたには想像できないことをされ、しておられ、私の大好きな、それ、、、え～預言者の名前は忘れました

が、、、わたしが言ったとしても、あなたがたは決して信じない。（ハバクク　1：5 参照）
「じゃあ言ってみてください。」「いいえ、わたしがしようする事を告げてもあなたがたは決して信じない。」そして神はなさいます。そうして神がなさると、私たちはこうなるのでは？「ほ～！！神がなさったのが信じられない。」私たちは神がなさるのを信じていないんですよ。私たちはそれを見て、神が仰います。「あなたの目の前にあるのが分かりませんか？」「信じられない！！」「あらそう？」たぶん自分に言う必要があります。たぶん皆さんは、私より霊的ですから。しかし神は、奇跡をなさいます。そうして神が奇跡をなさっても、私たちはまだ疑います。「へ？本当に神はこれをなさった？」はい、なさいました。「わお～神様、すごいです。」わかっています。わたしは神です。「ええ、でも神様、それって不可能でした。」わかっています。わたしは不可能をする神です。わたしに不可能が何かありますか？　もしかして神は、それがとても複雑で、とても混乱し、とても難しいものになるよう、そういう全てをされたのかもしれません。ご自分のなさりたいやり方でなさるために。もしも、、、ではなく、”なさるその時”　神はなさいます。神がそれをなさる時、あなたはこうなります。「うわ～神様～ありがとうございます。感謝します。」元気を出してください。待つのです。今に分かるから。　詩篇 27 篇 13 節、14 節です。
簡単に纏めると、「待つのです。今に分かるから。」ダビデは心失い、タオルを投げ捨てそうになりました。私なら心が折れてしまっていたでしょう。「もしも　私が　生ける者の地で主のいつくしみを見ると　信じていなかったなら――。」ダビデは自分に語っているのです。それって臨床名があるのは分かっていますが、彼は自分自身への良い語り手です。「座れ！小僧！話がある。お前は待つのだ。勇気を出すのだ。主の恵みがわかるはずだ。待つのだ。神がなさることが分かるだろう。元気を出すのだ。」
さて、私がここまで言ったことはすべて信者のための話です。主を知らない人、救われるため、主に信頼を置いたことがない人には当てはまりません。ということで、締めくくりたいと思います。今日がその日であり、今こそ急がなければならない以外、どう言えば良いのか分かりません。最高傑作の一つ、そして最も成功した敵の嘘は、ある人が雄弁に言ったように、天国や地獄がないわけではないが、急ぐことはない。偽りの父からの最も成功した嘘です。「急ぐことはない。緊急性もない。」そう、緊急性があります。今日がその日です。私たちは終わりの時にいるからです。あのラッパが、今まさに鳴ろうとしています。そしてまず、キリストにある死者がよみがえり、
それから、生き残っている私たちが、彼らと一緒に雲に包まれて引き上げられ、空中で主と会うのです。（I テサロニケ　4：16-17）
第一テサロニケ人への手紙 4 章 17 節から、今、言及した携挙の話は、より現実的です。私がよく言っているのは分かっています。皆さん飽き飽きしないでほしいですが、今皆さんが座っているその椅子より現実的です。携挙は起こります。私は心から確信しています。本当に心からそう信じています。私たちの誰もが想像するよりも間近です。もういつでも起こり得ます。教会携挙が差し迫っています。ところで、、、これは聖霊からだと思いますが、だからこそ、もう一度確認したかったのです。時間切れで急ぎ足にならないようしたかったのですが、どうか、、、あなたに、切に切に願います。多数います。患難時代前携挙という健全な教義を非常に悪意を持って攻撃する人たちが増えてきているようです。ただ、あなたに懇願したいのは、、、何と言えば良いのでしょう。その実を見ることです。その実を見てください。健全な教義の患難時代前携挙に対する攻撃。それ自体が、何かを教えてくれる筈ではないでしょうか？　どうか騙されないでください。イエス・キリストの教会携挙は、7 年間の患難時代前に起こります。もう起ころうとしています。もうすぐ起こると信じます。ですから、急がなければなりません。今日がその日です。

これは２つの励ましです。信者には、「持ちこたえなさい。そんな長くはないから。」それが、イエスがヨハネに書かせられた「フィラデルフィアの教会」宛の手紙です。「頑張りなさい。あなたには少しばかりの力しかないのは分かっています。あなたが戦いに疲れているのは分かっています。（地元向けに）ボロボロなのは分かっています。失礼。

しかしあなたは、わたしの言葉を守り、わたしの名を否まなかったから、全世界に来ようとしている試練の時にはわたしがあなたを守る。」（黙示録３：8-10）

それが７年間の患難時代です。その御約束は、「わたしはあなたがたをそれから守る。あなたがたはそれに遭わない。だからもうちょっとだけ踏ん張りなさい。」「あとどれくらいですか？」「さほどありません。」「いつまで持ちこたえられるか分かりません。爪の先で捕まっているのです。」「わかっています。もう長くありません。わたしがあなたを守ります。わたしがあなたを抱え、背負います。わたしがあなたを支えます。わたしがあなたに提供します。しかし頑張るのです。わたしが来るからです。」

それが信者への励ましです。では信者ではない人への今日の励ましは、あなたは今日決断することが出来るという事。あなたが遅れて参加しても、歓迎します。でも、それでいいんです。イエスはそれについて例えで話されました。朝、労働者を雇い、彼らはその給料に同意します。それからその日一日中、もっと必要で、もっと雇うのです。一日の終わりに向かってさらに雇い、残り 1 時間のところで雇った者に同じ額を支払われます。（マタイ　20：1-16 参照）

どうやら、朝雇われた者がそのことを知ります。「君ら、いくらもらったんだ？？」「これだけ受け取りました。」「え”〜〜〜？？？それって不公平だ！！！　君は、終わりギリギリで加わったんだぞ。」この例え話のポイントは、ぎりぎりでキリストにたどり着いても、救われるのです。

もう１つの話をします。ごめんなさい。許してもらって、部分携挙という全様相について。主のために心燃やし、主の近くを歩んだ者だけが携挙されるという内容。は〜？？？何ですって？？？　それって、それって、○▲□○▲□XXX　私には行いに聞こえます。つまり、私は何かをすることで、携挙される権利を獲得せねばならない意味ですか？？　部分的に？？　つまり、それって敵が狡猾なのです。部分携挙ですって？「ええ、あなたは救われていますが、あなたは挙げられないね。あなたは救われていますが、あなたは、、、本当に主に近い者たちだけですよ。」だなんて、自分の行いが前提の意味ですよ。私は人々にこう言うのが好きです。「救われていて、神の御霊で新生しているなら、あなたは、携挙で上げられるのです。好むと好まざるとにかかわらず、あなたは患難時代前携挙で上げられます。」上がる途中で会いましょう。凄い瞬時だから、時間はあまりないですが、永遠のすべてを手に入れます。冗談です。

「だから言ったでしょ？」と言うでしょうかね。たぶん言いません。私のポイントはこうです。イエスが来られます。教会携挙が差し迫っています。今日起こり得ます。素晴らしいじゃないですか！！　今すぐ！！　あなたが救われているなら、この邪悪で暗いこの世から連れ出されます。文字通り、全地獄が解き放たれる前に。それが救いの良い知らせ、イエス・キリストの福音です。イエスが（地上に）来られ、あなたのために十字架で死なれ、あなたのために、あなたのすべての罪の代価を完全に支払って下さいました。ご自分の血を流すことで、購入されました。高価な真珠、あなたを買い戻されたのです。（マタイ　13：46 参照）イエスはあなたの代わりに死なれました。それが良い知らせ・福音です。イエスが死なれ、葬られ、３日目によみがえられたこと。そして、ある日、イエスは戻って来られます。それが良い知らせです。福音/ゴスペルという意味は、「良い知らせです。あなたの負債は支払われた。あなたは自由です。」

「子（イエス）があなたがたを自由にするなら、あなたがたは本当に自由になるのです。」（ヨハネ　8：36）
私たちは、この「救いの ABC」を何年も前からやっています。形式的にならないよう、再度注意したいと思います。形式的ではないからです。もっと雛形に近いですね。救いのシンプルな説明なのです。どうかしなければならないことにしないでください。祈らなければならないような祈りとか、祭壇の前に来てひざまずき本当に、本当に、本当に、本当に、本当に、自分の罪を悔まないといけないとか。「本当に」を 5 回言わないといけない。4 回では救われない。その場で 5 回言わなきゃならないとか。バカな話で悪いのですが、皆さんポイントは分かりますね？　A から始まります。
A：自分が神に背いた罪びとであるのを、Admit/認める　または、Acknowledge/認識する。自分が罪びとだと認めるまでは、救い主に興味がありませんから。なぜ私が？と。ローマ人への手紙 3 章 10 節に書かれています。
「義人（正しい者）はいない。一人もいない。」
ローマ人への手紙 3 章 23 節がその理由です。
「すべての人は罪を犯して、（分かります？）神の栄光を受けることができず、」
的外れなのです。それが罪の意味です。アーチェリー用語で、的を外しているのです。私たちは皆、神の完璧な義の基準の的を外してきたのです。ローマ人への手紙 6 章 23 節、私がこの節が好きなのは、先に悪い知らせと良い知らせがセットだから。悪い知らせとは、私たち誰しもが死刑宣告を受けている事。
「（私たち誰しも）罪の報酬は死です。」（ローマ　6:23a）
それが悪い知らせです。しかし良い知らせがあります。
「神の賜物は私たちの主キリスト・イエスによる永遠の命です。」（ローマ　6:23b）
よろしければ、私たちが十字架上の盗人と愛称する人の話を今日の「救いの ABC」にしたいと思います。彼がこれをしたからです。もう一方の犯罪者は、イエスを呪いました。でもその彼は、認識したのです。「ちょっと待って。私はここにいるのが当然。法律を破った罪びとだから。私はこの死刑に値する。でもイエスはそうではない。」イエスを救い主と認めたのです。その彼はイエスを信じました。もう一方の者はそうしなかった。でもこの彼はそうしたのです。それが B です。
B：あなたの心で、イエス・キリストが主であると　Believe/信じる。この十字架上の盗人は、、、世の救い主の隣で磔刑なのを想像してみてください。それを認めて、それを信じて、故に救われます。
ローマ人への手紙 10 章 9-10 節、
「あなたの心で神はイエスを死者の中からよみがえらせたと信じるなら、あなたは救われるからです。」
その彼がこう言うのがとても興味深いです。
「イエス様。あなたが御国に入られるときには、私を思い出してください。」（ルカ　23：42）
訳すと、「私も救ってくださいますか？」イエスは彼に言われた。
「まことに、あなたに言います。あなたは今日、わたしとともにパラダイスにいます。」（ルカ　23：43）
わお～それが C です。その彼は、主の御名を呼び求めたのです。
C：主の御名を　Call/呼び求める。再度、ローマ人への手紙 10 章 9-10 節、
「あなたの口でイエスは主と告白し、あなたの心で神はイエスを死者の中からよみがえらせたと信じるなら、あなたは救われるからです。」
「人は心に信じて義と認められ、口で告白して救われるのです。」（ローマ 10：10）

最後に、ローマ人への手紙 10 章 13 節です。これがその彼のした事です。
『主の御名を呼び求める者はみな救われる。』
彼は主を呼び求めて言いました。「あなたが私も救ってくださいませんか？」そして彼は救われました。私たち、天でその彼に会えますよ。彼にいくつか質問できるかもしれませんね。「うわー、どんな感じだったの？」この件に関してもう 1 つ。来週、水の洗礼だからです。これはもう 1 つの偽教義、"水の洗礼を受けなければ救われない”というバプテズマによる新生という偽教義です。悪いけど、それならイエスはこう言わなければならなかったでしょうに。「わたしは、今日あなたが何よりもわたしと一緒にパラダイスに行ってほしいです。でも何とかして、 この十字架から降りて、水のバプテスマを受けてから、戻って来なさい。そうすれば行けます。」再びこれが、、、分かっていますよ。皆さん、私のおかしなユーモアセンスに大変優しいですね。しかしポイントは、私たちがせねばならないことは何もないのです。イエスが全てをなさいました。私たちの代わりに、私たちのために。私たちがすべきことは、信じること。それだけです。「ABC」よりもシンプルです。B だけなくらいです。「あなたの心で信じる」そうすれば救われるのです。
ヨハネ　3
16 神は、実に、そのひとり子（イエス）をお与えになったほどに世を愛された。それは御子を信じる者が、...
申込書を記入し、オンラインで、利用規約に同意し、水のバプテスマを受ける??これで最後にしておきます。
...それは御子（イエス）を信じる者が、一人として滅びることなく、永遠のいのちを持つためである。
お～どうか、今日、私は切に願います。あなたがイエスを信じたことがないなら、イエスに信頼を置いてください。今日は、永遠の命のために、人生で最も重要な決断をする日です。あなたがすべきことは何もありません。そうなることを祈ります。
では、今日の「しかし、神は。ストーリー証」で締めくくります。エリザベス・モーズリーさんからの証です。
「私の、”しかし神は”を皆さんに共有したかったのです。2021 年 9 月、某社に派遣社員として入社しました。彼らはリモートで仕事をしており、オフィスに来る人にはワクチン接種を義務付けていました。できる限り、そこでやっていこうと決めていました。神が私に何を用意しておられるか分かりませんでした。私は、主がなさることを信じていたんです。（想像してみてください。なんて尊い考えでしょうか。神がしてくださると信じる）3 月になって、正社員のオファーが来ました。しかし、出社するには、まだなお接種をしなければなりません。私は神を助けようとし始めたのです。（皆さん、何の意味か分かりませんよね。）私は神を助けようとして、別の仕事を見つけようとし始めました。しかし、主がなさいました。週 3 日出社して、仕事をしているのですが、ワクチン接種もなく、当初はせねばならないと言われていた週 1 回の検査もありません。教訓を得ました。ただ、神を信じること。毎週（あなたの動画を）聞いています。ありがとうございます。携挙で会えるのを楽しみにしています。（私たちも同じですよ）エリザベスより。」カポノは上がってきてください。皆さんご起立ください。あなたが私の話を何も聞かなかったなら、どうかこの 3 語だけは聞いてください。
「ただ神を信じる。」Just　Trust　GOD.
神を手伝おうとしないでください。神にそれは必要ありません。子どが手伝いをしたがるのは可愛らし

いですよね。「ねえ、パパ。手伝う〜。」あ”〜〜〜15 分で終わる事が、5 時間かかります。でもとても可愛いので、「OK。いいよ。」そんな感じだと思います。神に助けが必要だったらどうです？「聞きなさい。わたしはこれをする必要がある。でも、君の助けが必要なんだ、いいかい？」「待ってください。あなたが神だと思っていました。」わたしは手伝ってほしくないですよ。むしろ、あなたが手伝おうとすると、却って悪化するかもしれません。さらに時間がかかります。だから、邪魔をしないでくれませんか？　わたしのやり方でやらせてください。わたしの方法でやらせてください。なぜなら、わたしのやり方、方法は、あなたのやり方より、ず〜っと良いからね。ただ神を信じて。
天のお父様。心から感謝します。はい。どんどん暗くなってきました。想像することすら難しいです。当然でしょうが、今よりもっと暗くなるとはまだ想像しにくいです。でも、確かにそうなりえます。
しかし、主よ、私たちはあなたの御約束に慰められ、励まされます。あなたが来られる直前は、このようになるのですから。ですから主よ。このようなものなのです。私たちは頭を上げて、上を見ます。私たちの贖いが近づいているのを知っているからです。主よ、どうか早く来てください。イエスの御名によって祈ります。アーメン。

メッセージ by JD Farag 牧師カルバリーチャペルカネオへ
http://www.calvarychapelkaneohe.com/
Calvary Chapel Kaneohe47-525Kamehameha Hwy. Kaneohe, Hawaii　　筆記 hukuinn7